

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	1 健診結果を正しく理解してもらい生活習慣の是正がなされる。 2 健康上の不安を解消し、適切な健康管理を行うようになる。						
事業の概要	各種健診の結果について、それぞれ受診者との相談を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	922		1,773		2,017	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	健康相談を受けた人数	人	2,581	2,315	2,546	2,546
			%				
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康相談総人数は、前年度比10%減少であるが、各種相談事業としてはおおむね達成している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市食生活改善推進団体連絡協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	保健衛生知識全般並びに栄養及び食生活改善について、会員相互の啓発と地域の保健衛生水準向上に協力し、住民の健康増進に寄与する						
事業の概要	市民の健康意識の向上と推進を図るため、さくら市食生活改善推進団体連絡協議会事業を健康増進事業と認定して事業経費として43,000円の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	43		43		43	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	教室の総参加延人数（会員の参加者数）		368	301	340	360
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民に多く食生活改善に周知と啓発をし、生活習慣病の予防につとめているが、教室の参加人数が18%減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康づくり推進協議会事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	市民の生涯を通した総合的な健康づくり対策事業を進める。						
事業の概要	市民の生涯を通した総合的な健康づくり対策を進めるため、15人以内の委員を委嘱して組織し、健康づくりに関する計画や実践について審議を行う。年2回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	72		72		90	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		提案等した案件数	件	6	6	6	6
	活動						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画通り年2回開催し、健康づくり対策事業を協議。新規事業実施状況等についても説明し、委員からの意見を求め、活発な議論を交わし、施策に反映することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	多くの市民が自分の健康について関心を持ち、専門的な知識の習得や健康増進のための手法等について学び、市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を目指す。						
事業の概要	医師・歯科医師無料相談、20歳代の健診、骨密度測定、食育推進コーナー、良い歯の表彰、健康づくり体験コーナー、パンフレット配布等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	403		363		585	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	健診、相談、体験コーナー等の来場参加数	人	1,383	1,817	1,850	1,900
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	医師の無料相談については、広報誌に担当医師の写真や一言を掲載し相談数が増加。体験コーナーもネーミングと参加者体験型の効果があり人気があった。20歳代の健診受診数は前年度同様の周知を行ったが減少した。全体参加数としては増加した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	緑川芳子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	市民が生活習慣病予防を目的に、運動習慣を身につけ自ら行動できるようになる。また、病態や食事の知識を身につけることで自宅で実践できるようにする。						
事業の概要	5月から3月にかけて月1回運動（貯筋フィットネス・ウォーキング）・栄養（調理実習・試食）等の実践体験をし健康増進をはかる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	504		536		559	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	特定保健指導者数	人	249	290	290	290
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	特定保健指導及び結果相談会において保健指導を行い、実績は前年度比、14%増加した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	市民にがん検診を受診してもらい、がん等の早期発見・早期治療を行うことにより、がんによる死亡を減少させる。						
事業の概要	健康管理調査を行い厚生労働省のがん検診の指針に基づく項目、胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がんの検診を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	60,716		60,829		70,073	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	各がん検診精密検査の受診率	%	71.6	70.3	73	75
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	各種がん検診の中で胃がん、大腸がんの精検の受診率が低い。精検の受診率アップが、早期発見・早期治療につながるため、精密検査対象者に対し、対象者全員受診するよう更なる勧奨に努める。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	節目対象者にクーポン券を発行し、がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診を促し、早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	乳がん・子宮頸がん検診（医療機関検診含む）において、特定の年齢に達した方に対してクーポン券を発行し、4月1日～12月31日までに受診した方の個人負担を免除する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,510		907		1,464	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	クーポン券を利用した人数	人	107	107	112	115
	成果	精密検査の受診率（子宮がん・乳がん）	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子宮がん・乳がん（クーポン券）の精検の受診率が100%で達成している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乳幼児健診事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	乳幼児の心身の発育・発達を総合的に診査し疾病障害の早期発見・早期対応をはかり、健全な児の発育発達を促すとともに育児支援を行う。						
事業の概要	4ヵ月児と股関節脱臼、10ヵ月児、1歳6ヵ月児、2歳6ヵ月児、3歳6ヵ月児、5歳6ヵ月児健診を各年12回実施。身体計測、発達チェック、診察等を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,296		8,980		9,417	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	3歳6ヵ月児健診受診率	%	97.3	97.1	98	98
	成果	3歳6ヵ月児健診でう歯のない児の割合	%	81.8	81.8	82	83
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診率は昨年度よりも0.2%下がったが、97%を超えており高い受診率を保っている。う歯のない児童の割合は、平成27年度に10%以上上がり、81%代で推移している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	母子保健推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	母子の一貫した健康管理と健康の保持増進がなされる。 父親の育児参加が増える。						
事業の概要	母子健康手帳の交付、ママパパ学級開催、乳幼児相談、のびのび発達相談、こども発達相談、ことばの相談、すこやか2次相談、ふちとまと教室、ばんび教室、とまと教室等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,703		1,792		1,922	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	年間母子の訪問・面接・電話件数	件	746	1,650	1,650	1,650
	成果	のびのび発達相談参加率	%	95.1	93	98	99
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	年間母子の訪問・面接・電話件数が2.2倍に増えたが、のびのび発達相談の実施率が28年度よりも2%以上減った。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	妊産婦健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	経済的負担の軽減を図り妊産婦健康診査受診率を向上する。 未受診者について確認することにより虐待予防に務める。						
事業の概要	妊婦健康診査14回、産婦健診2回費用の助成を行っている。県外医療機関で契約できない医療機関は扶助費で対応している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	32,058		35,551		40,331	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	受診票交付者のうち、妊婦健診の受診者数（延べ人数）	人	4,554	4,725	4,950	
	成果	産婦健診（産後2週間と1か月の2回受診者）受診率	%	実施なし	73.9	80	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	妊婦健診の延受診者数は昨年度よりも増加している。産後健診については、産後2週間健診を実施していない医療機関も多く、産後2週間と産後1か月健診の2回健診を受けている割合は70%代であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	教職員健康診断事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	佐藤美冴		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	教職員に対する福利厚生 の充実、疾病の早期発見・予防及び健康増進を図る						
事業の概要	学校保健安全法に基づき、市内小中学校勤務の教職員に対し定期健康診断及び結核検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,533		2,344		2,279	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		定期健康診断受診者数	人	185	82/200	200	200
		結核検診受診者数	人	298	277/325	325	325
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	教職員に対して定期健康診断及び結核検診を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	人間ドック補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課			担当者	村松 貞往		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制。						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の被保険者の受診者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,900		7,780		8,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	活動	人間ドック補助件数	件	395	389	400	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	H29 目標350 に対し 実績389					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結核検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	結核の予防及び蔓延防止						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期の健康診断を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	961		702		1,160	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	検診の延べ受診者数	人	480	341	350	360
	成果	再検査となった受診者数	人	15	9	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診対象者全員に個別通知を発送しているが、受診者は減少しているため対象者に受診するよう更なる勧奨に努める。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	不妊治療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	少子化対策						
事業の概要	不妊治療（体外受精・顕微授精・人工授精）を行った法律上の夫婦に対して不妊治療に要した費用の一部を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,721		6,453		6,656	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	助成実人数の内、妊娠届出者数	件	13	9	11	11
	成果	助成実人数に占める妊娠届出者数の割合	%	23.6	17.6	21	21
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	助成実人員に占める妊娠届出者数、妊娠届出者数の割合とも減少しているが、助成申請者には全て助成することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	緑川芳子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	基本健康診査の受診の結果により、生活習慣を改善し生活習慣病の予防に努め、健康で生活出来るようにする。						
事業の概要	30歳以上の市民に対して健康管理調査を行い、さくら市健康診査実施要綱に基づき特定健康診査・基本健康診査の受診を勧奨する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,915		12,278		16,296	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	結果相談会の参加者の割合	%	86.3	83.3	85	85
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者に個別通知や電話勧奨等を行なってはいるが、成果が現れず3ポイント減少した。引き継ぎ結果相談会の参加者数を増やせるよう工夫が必要。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課			担当者	大橋 航平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費を抑制する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,890		8,162		10,415	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	22.04	23.47	25	25
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値 25%に対し23.47% 前年比1.43ポイント増加。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	村松 貞往			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,525		17,417		25,653	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	受診率	%	43.5	46.2	53	57
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	目標値50 に対し 46.2% 目標値が高く、達成するのは難しい状況。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	任意予防接種事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	予防接種法に基づく「定期接種」以外で日本で受けられる予防接種と、定期接種の期間外に受ける任意予防接種費用を助成しり患者を減らす。						
事業の概要	子どものインフルエンザ：平成27年度地方創生交付金を利用し助成開始。 ロタウイルス：平成29年度から助成開始。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		16,458		20,488	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	子どものインフルエンザ延接種児数	人		5,568	5,600	5,650
	成果	ロタウイルスワクチン延接種児数	人		517	600	650
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	子どものインフルエンザは、28年度5,608人が接種しており、29年度はやや減少している。ロタウイルスの助成は、29年度が初年度であり、今後増加することが予想される。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。27年度～29年度までの事業。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	27,384		13,224		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数		3,373	3,144		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受け入れ延べ数を指標とした。総数は28年度より、若干減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	健康づくり事業の拠点として市民の健康に寄与する。						
事業の概要	市民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うセンター内外各設備敷地の維持管理、保守点検、修繕を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,461		4,323		5,044	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	健康相談、保健指導及び健康診査 その他事業の来場者数。	人	10,277	10,390	10,500	11,500
	活動	会場貸出利用者数		1,114	1,195	1,200	1,200
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業来場者数は、見込み数（10500人）より、少なかった。内容的には、成人の健診結果相談来所者数が減少傾向であり、子育て世代包括支援センターの開所による「さくらっこ相談ルーム」等の利用者が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	健康づくり事業の拠点として市民の健康に寄与する。						
事業の概要	市民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うセンター内外各設備敷地の維持管理、保守点検、修繕を行う。・屋根修繕工事を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,938		2,987		3,967	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	健康相談、保健指導及び健康診査 その他事業の来場者数。	人	3,923	4,507	4,550	4,550
	活動	会場貸出利用者数	人	1,094	519	550	550
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業参加による来場者数が大幅に増加した。子育て世代包括支援センター開設に伴う妊産婦等を中心とした教室を喜連川保健センターで新規に実施したことが来場者数の増加につながった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	森 暢子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄提供には、7日間程度の通院入院が必要で仕事等を休むことが経済的負担となり提供断念となる場合があるため、奨励金を助成することで骨髄提供の機会を増やす。						
事業の概要	奨励金額は、骨髄等の提供のための通院又は入院の日数(上限7日)に、骨髄提供者は2万円を乗じた額、事業所に対しては1万円を乗じた額を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		210	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	成果	交付申請者数		0	0	1	1
		交付申請事業所数		0	0	1	1
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	骨髄バンクに登録しても提供者の型が一致する必要があるため、一概に評価することは難しいが、一致した場合、提供者や事業所の申請者数が少しずつ増えることを目指す					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		